平成 24 年度における協議会の取り組み状況について

==========

【継続事業】

1. 「粟生線～三宮　平日昼間＆土休日お得きっぷ」の発売　・・・平成 24 年 2 月 25 日～

2. シニアパスの発売　・・・平成 22 年 10 月～

3. 小学生による農業体験校外学習　・・・平成 24 年 6 月

4. 神戸電鉄粟生線利用促進モビリティ・マネジメントの実施
・・・平成 23 年 7 月～
   - ・沿線企業や学校を対象としたモビリティ・マネジメント
   - ・自治体組織・職員による粟生線利用率先行動
   - ・サポーターズクラブの設立・会員募集

5. 駅前パーク＆ライド時間貸し駐車場の利用状況　・・・平成 22 年 10 月～

6. キャラクター・ミニトレインを活用した公共交通利用啓発 PR　・・・4 月～

（関連活動）

- ・協議会活動状況ポスター等の展示　・・・5 月 19 日～6 月 1 日
- ・「おやじジャズトレイン」の運行による利用啓発ＰＲ活動　・・・6 月 17 日

【実施予定】

1. 七夕・笹竹飾り　・・・7 月 5 日～16 日
2. 「粟生線活性化協議会だより」（夏特別号）の発行　・・・7 月中旬
3. 「おもてなしきっぷ」の発売　・・・7 月 21 日～9 月 30 日
4. 親子で GO!!「ミステリートレイン 2012」の運行　・・・8 月中旬
5. 秋期スタンプラリーの企画・開催　・・・9 月～
6. 「神鉄トレインフェスティバル 2012」の開催　・・・10 月

1.「粟生線～三宮　平日昼間＆土休日お得きっぷ」の発売

・・・平成 24 年 2 月 25 日～5 月 31 日

粟生線沿線で実施された住民アンケートや協議会でよせられた「昼間にワンコイン（500 円）で三宮まで出かけられるきっぷ」とのご意見にお応えし、平日昼間（１０時～１６時）および土休日（終日）に、粟生線各駅から三宮までご利用いただけるきっぷ４枚（２往復分）をセットにした、１枚あたり 500 円のお得な乗車券を試験発売しました。

【有効区間】

平日昼間（１０時～１６時）および土休日（終日）における

神戸電鉄粟生線各駅から神戸高速線全線（阪神三宮を含む）

【発売・有効期間】

（１）平成２４年２月２５日（土）～平成２４年３月３１日（土）

（２）平成２４年３月２５日（日）～平成２４年４月３０日（祝・月）

（３）平成２４年４月２５日（水）～平成２４年５月３１日（木）

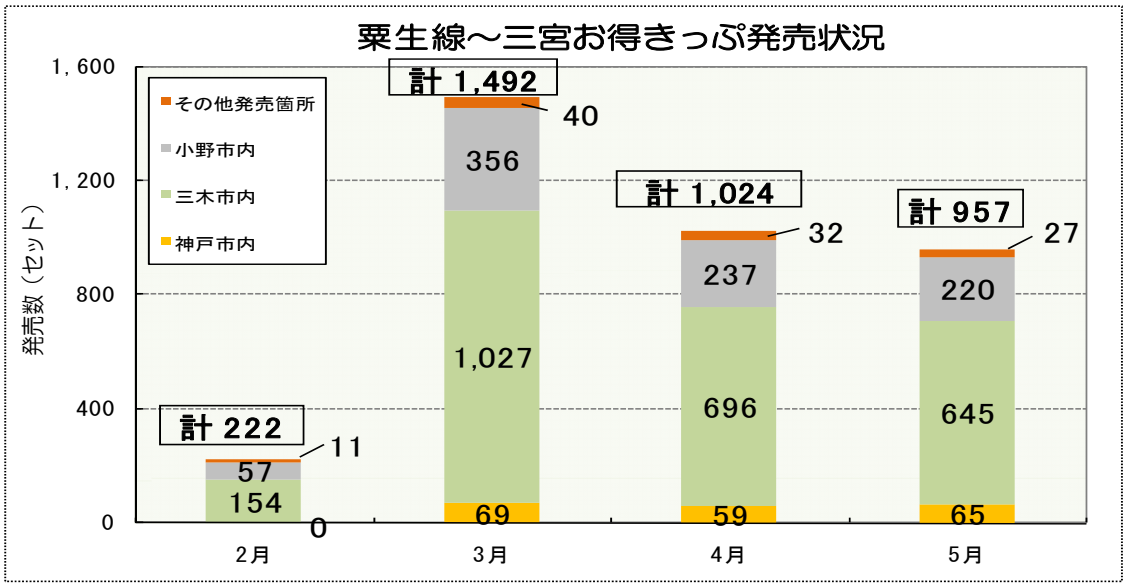
※有効期間に応じて３回に分けて発売

【発売額】　（大人のみ）２，０００円

お得きっぷチラシ

□発売状況について

・ 発売箇所：志染、自動販売機（栄、緑が丘、恵比須、三木、小野）その他



この割引きっぷ発売により、特に既存の回数券(時差回数券を含む)や企画乗車券（日曜限定おでかけ４day チケットなど）からの転移が顕著に認められましたが、その一方で、当該期間中の粟生線の運賃収入に大きな増減がなかったことから、一定の新規利用増があったと考えられます。

しかしながら、発売期を重ねて発売数が減少するに伴い、新規利用増による増収効果が薄れており、<u>今後、継続発売により粟生線の収入増に繋げるためには、約 1,200 セット／月以上の発売数が必要であると考えられます</u>。

2. シニアパスの発売

・・・平成22年10月～

競合するバス路線等との競争力強化及び新規の定期利用者誘致を図るため、神戸電鉄全線と神戸高速線全線で乗車できる70歳以上の高齢者を対象としたシニアパス（割引乗車券）を継続的に発売しています。

平成23年4月1日以降に発売したシニアパスは、有効期間を4ヵ月とし、神鉄食彩館や沿線施設等でパス提示により割引きで買い物等ができる特典を付与しました。

ご利用者にはさらに使いやすく継続的に利用できるパスとして好評であり、固定的な利用層の囲い込みに繋がっています。

▼パス提示によりご優待を受けられる施設

・神鉄食彩館（新開地、北鈴蘭台、谷上、岡場、
　　鈴蘭台西口、西鈴蘭台の各店舗）

・しあわせの村温泉健康センター、吉川温泉よかたん、
　白雲谷温泉ゆぴか

☆平成23年10月1日より追加

・フルーツランチKAMEYA、あまぐりジェラード万寿庵、
　パティスリーツルタニ、御菓子司 一心堂、あお陶遊館アルテ

シニアパスチラシ＆会員証

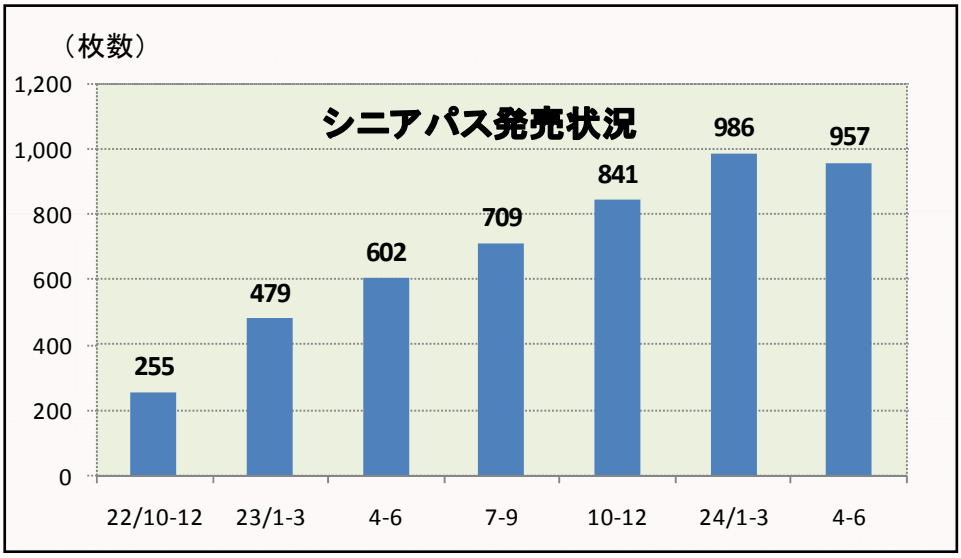
【発売期間】

平成24年3月28日～6月30日（終了）、平成24年6月25日～9月30日（発売中）

※有効期間は各4ヵ月、その内20日間乗車

【発売状況】

平成24年3月28日～6月30日で、957枚の発売がありました。総発売枚数が前期より減少しましたが、三木市による「三木市神戸電鉄福祉パス」の配布時期が重なった影響によるものと推定されます。（※平成23年度発売実績：3,138枚）



3. 小学生による農業体験校外学習　　・・・6 月 6～7 日

昨年度に引き続き、沿線地元住民の方の作業支援を得て、粟生駅周辺での農業体験学習（田植え）を実施し、学校団体の利用誘致と粟生線利用啓発を行いました。

なお、秋期には同学校参加による稲刈りを実施する予定です。

【参加小学校】

・6 月 6 日：月が丘小学校 3 年生（28 名）

・6 月 7 日：小部東小学校 3 年生（88 名）

移動状況（粟生駅）

ミーティング状況

田植え実施状況

4. 神戸電鉄粟生線利用促進モビリティ・マネジメントの実施

・・・平成 23 年 7 月 1 日～

粟生線の沿線住民を対象としたＴＦＰ（トラベル・フィードバック・プログラム）を実施し、公共交通利用の重要性の意識付けを行って交通行動変容を促す働きかけを行うとともに、沿線の学校や企業、自治体職員に対して、率先的な粟生線利用を呼びかけました。

※ＴＦＰ（トラベル・フィードバック・プログラム）

一人ひとりあるいは一世帯ごとに個別にコミュニケーションを図りながら、人々の意識と行動の自発的な変化を促す代表的なMM施策

□ 沿線企業や学校を対象としたモビリティ・マネジメント（昨年度の取組み）

（詳細は、５月末に神戸電鉄粟生線活性化協議会ＨＰにて公開中）

粟生線沿線企業や学校職員の通勤実態を把握するとともに、公共交通利用による通勤を啓発するため、沿線の企業・学校に対し、アンケート調査を実施しました。

【調査時期】　平成 24 年 2 月 13 日～3 月 2 日

【調査対象】　1,051 事業所・学校

・小野市域及び三木市域における駅から 2ｋｍ圏内の事業所　・・918 社

・神戸テクノ・ロジスティックパーク（神戸複合産業団地）内の企業　・・85 社

・粟生線沿線にある、小・中学校、高等学校、特別支援学校、大学　・・48 校

【結果概要】　※別紙-1 参照

アンケート結果の概要は、以下のとおりです。

・全従業員（12,519 人）の内、約 5%が、粟生線を利用して通勤していると回答された。
・約 50%の事業者が、通勤手段として粟生線が廃線になった場合何らかの影響が生じると回答され、また、約 30%の事業者が、粟生線が廃線になった場合何らかの対策を講じると回答された。
・一方、利用者増加等に関する取組みについて、積極的に協力すると回答いただいた事業者数は 37 であった。
・サポーター制度へ協力すると回答いただいた事業者数は 51 で、取組み状況の説明や事業所・学校にあった具体的な提案をして欲しいと回答いただいた事業者は 19 であった。

以上のアンケート結果を踏まえ、粟生線の利用促進や存続に関心の高い事業所を中心に、設立予定の「粟生線サポーターズくらぶ」への入会・くらぶ加盟店の誘致、また、協働した利用促進活動の検討を行ない、地域と連携・協働した利用促進と利用啓発活動を行います。

□自治体組織・職員による粟生線利用率先行動（これまでの取組み）

【神戸市】

通勤・出張時の移動手段は、原則、公共交通を使用することになっており、休日などの定期外利用の促進について呼びかけを行った。

1. 職員に向けたメールの送付
   協議会開催のイベントや沿線市での行事を、E メールやビラ配布等を通じて職員に紹介し、利用促進を図った。
2. イベント実施
   粟生線沿線で職員参加のイベントを開催（小野アルプス登頂）した。

【三木市】

1. 職員向けアンケートの実施
   平成 23 年 11 月に市職員を対象とした粟生線利用に関するアンケートを実施し、通勤時や休日における神鉄利用状況を把握するとともに、アンケートにあわせて啓発冊子を配り、今後の神鉄利用に対する意識を高めた。
2. 出張時の神鉄回数券利用を制度化
   平成 24 年 1 月から神戸・大阪方面への出張の際には、職員に回数券を配布し、神鉄を利用することを制度化した。
3. 職員に向けたメールの送付
   駅前パーク＆ライド駐車場や企画乗車券の周知を図るなどし、神鉄利用を促した。

【小野市】

神戸方面の出張時の交通手段として粟生線の利用を呼び掛け、また利用促進方策の実施等を行った。

1. 職員に向けた文書通知
   神戸方面出張時の交通手段として積極的な粟生線利用の呼びかけを行った。
2. 出張時の粟生線の利用促進
   小野駅前第２コインパーキング拡張スペースを職員用駐車場として、暫定利用を図った。
3. 職員の通勤に対する神戸電鉄粟生線利用確認

□ サポーターズクラブの設立・会員募集（今年度の取組み）

昨年度実施したモビリティ・マネジメントの展開として、また、沿線住民アンケートや協議会でのご意見も踏まえて、広く粟生線の存続にご賛同いただける皆様による活動組織として**「粟生線サポーターズくらぶ（以下、クラブという）」**を設立いたします。

クラブ会員には、会員証の発行や会員専用「神戸電鉄１日フリーパス」のほか、オリジナルグッズ進呈などの特典があり、粟生線をご利用していただくきっかけづくりとしています。

皆様の「乗って残そう」という思いを形にしていくために、初年度会員数 5,000 人以上を目指してご協力を呼びかけてまいります。

なお、入会受付開始時期、入会手続き等の詳細については、7 月中旬より、駅チラシ・ポスター、または、神戸電鉄粟生線活性化協議会ホームページ、さらに、新聞折込み・駅頭配布・自治会を通した戸別配布により、広く沿線の皆様にご案内いたします。

■組織名称

粟生線サポーターズくらぶ

【事務局】三木市まちづくり部美しいまちづくり課

■活動内容

会員の募集、粟生線の利用促進に繋がる情報発信
活動の企画・実行・支援、粟生線の利用促進イベントの開催、沿線地域活動との連携・支援活動など

■会費：2,000 円／年

（初年度の有効期限は 2013 年 8 月 31 日まで）

募集チラシ（イメージ）

■会員特典

・会員証の発行

継続入会していただくことにより、プラチナ会員証（3～4 年目：ゴールド、5 年目以降：ブラック）にグレードアップし、継続的な入会を呼びかけます。

一般会員証

・**オリジナル神戸電鉄１日フリーパス（1 枚）の進呈**

粟生線等のご利用のきっかけづくりとして、
オリジナル１日フリーパス（非売品：神戸電鉄全線でご利用可能）を進呈します。

・**オリジナル 2013 年度卓上カレンダーの進呈**

神鉄ご利用者の皆様からの写真素材の提供・協力を得て制作しました神戸電鉄の車両や沿線名所などの写真を満載した粟生線駅時刻表付き卓上カレンダー（2013 年度）を進呈します。

・**神鉄沿線のクラブ加盟店での割引・特典の付与**

会員証の提示により、沿線飲食店等で飲食費等の割引や特典が受けられます。
なお、クラブ加盟店は逐次拡大させ、地域と一体となった利用促進・地域活性化を図ります。

・**沿線指定イベント来場時にオリジナルグッズの進呈**

沿線イベント（神鉄トレインフェスティバル、三木金物祭り　他）との連携による相乗効果とリピート利用の促進を図るため、指定イベント来場時にオリジナルグッズを進呈します。

■入会受付

入会受付の開始：**7 月中旬～（予定）**

■入会手続き

神戸電鉄各駅の募集チラシ裏面の入会申込書に必要事項を記入の上、FAX・郵送、または指定駅へ持参、もしくは、神戸電鉄粟生線活性化協議会ホームページより申込みの上、お近くの金融機関や銀行 ATM、インターネット等よりクラブ指定の銀行口座に会費を振込みしていただきます。

【指定駅】湊川駅・鈴蘭台駅・志染駅・岡場駅

5. 駅前パーク＆ライド時間貸し駐車場の利用状況　　・・・平成 22 年 10 月～

駅前用地を活用して、電車利用の潜在的な需要の掘り起こしと、駅勢圏の拡大による粟生線利用者増を図るために平成 22～23 年度に整備しました時間貸しパーク＆ライド駐車場（全 56 台）の利用状況は以下のとおりです。

稼働率向上のため、粟生線活性化協議会だより等の各種媒体を活用して、新規利用を随時ご案内しています。

押部谷駅

広野ゴルフ場前駅

三木駅前

小野駅（第１）

小野駅（第２）

□利用状況

・押部谷（平成 24 年 3 月～）　平均 2～3 台/日の利用であり、低調なご利用が続いている。

・広野ゴルフ場前（平成 23 年 11 月～）平均 4～5 台/日の利用まで稼働率が向上している。

・三木（平成 23 年 11 月～）平均 12～13 台/日まで稼働率が向上している。

・小野第１（平成 22 年 10 月～）平均 10 台/日の稼働率であり、時間帯によっては満車であったが、やや利用数の減少が認められる。

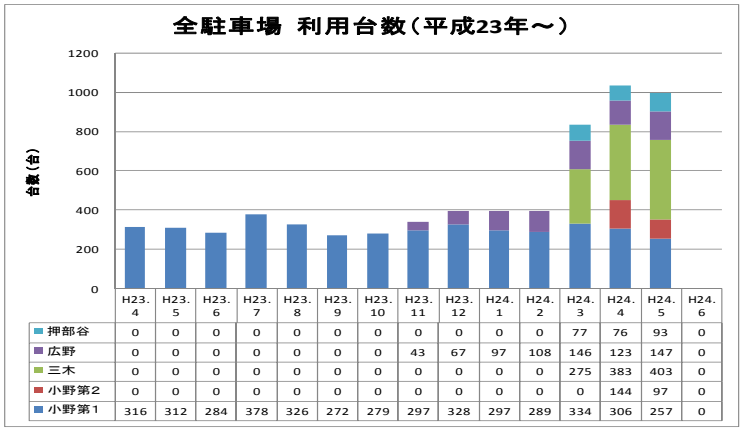
・小野第２（平成 23 年 4 月～）オープン後まもなく平均 3～4 台/日の利用があり、堅調な状況である。

（平成 23 年度）

	小野（10台）		三木（20台）		広野ゴルフ場前（10台）		押部谷（8台）		全駐車場（48台）	
	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）
	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)
計	3712	2343	275	149	461	317	98	34	4886	3059
	10.1	63%	8.9	54%	3.3	69%	2.5	35%	23.0	63%

（平成 24 年 4～5 月）

	小野第1（10台）		小野第2（8台）		三木（20台）		広野ゴルフ場前（10台）		押部谷（8台）		全駐車場（56台）	
	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）	利用台数(台)	ｻｰﾋﾞｽ券（台）
	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)	1日平均(台)	利用率(%)
計	644	454	270	87	882	543	321	238	190	51	2307	1373
	9.1	70%	3.8	32%	12.4	62%	4.5	74%	2.7	27%	32.5	60%



6. キャラクター着ぐるみやミニトレインを活用した公共交通利用啓発 PR

・・・4 月～

沿線各地の地域イベント等において、粟生線活性化キャラクター「しんちゃん・てつくん」の着ぐるみや 6000 系ミニトレインを活用しながら、「粟生線活性化協議会だより」やティッシュ等のグッズを配布し、広く沿線地域の皆様に、粟生線活性化への取り組みに対する理解と協力を呼びかけました。

【参加イベント】

・春欄慢（菜の花イベント）　4 月 14 日

粟生駅から第 3 回おの恋ハイキング（おの桜づつみ回廊と菜の花散策コース）のハイカー 130 人も参加し、地元の方約 100 人も加わって、盛大に行われました。

・三木駅・駅前市民トイレ完成　5 月 18 日

兵庫県及び三木市の事業として三木駅前に市民トイレが設置され、そのオープンを記念してティッシュ・利用促進グッズの駅頭配布と併せて利用啓発を呼びかけました。

【夏期における主な参加予定イベント】

・粟生駅前「シルキーウエイあわの里」における高校生レストラン運営イベント‥8 月

小野市が主催する沿線高校（小野工業高校・小野高校）が主体となったレストラン運営を中心としたイベント開催時に、兵庫県北播磨県民局のご協力も得てミニトレインを運行し、粟生線の利用促進への呼びかけを行います。

・小野まつり‥8 月

花火大会が盛り込まれている小野市域の代表イベントにおいて、ミニトレイン等を活用して効果的な集客と利用促進ＰＲを行います。

（関連事業）

○協議会活動状況ポスター等の展示　　・・・5 月 19 日～6 月 1 日

三木市が所管する展示室「さんさんギャラリーオアシス」にて、協議会での活動状況・協議会だよりや企画乗車券ＰＲポスターや、昨年度、駅広告看板枠に掲出した沿線高校生制作による粟生線へ利用啓発への思いを込めた絵画等を展示し、粟生線の利用啓発を呼びかけました。

【展示場所】さんさんギャラリーオアシス（三木市緑が丘町：緑が丘駅から徒歩５分）
【展示期間】5 月 19 日～6 月 1 日
【来場者数】196 名の来場がありました。

さんさんギャラリー　　ポスター等展示状況

○「おやじジャズトレイン」の運行による利用啓発ＰＲ活動　　・・・6 月 17 日

昨年度に引き続き、粟生線の利用促進・利用啓発を呼びかけるイベントとして、車窓に流れる新緑の景色が美しい季節に合わせ、列車内に響くライブ演奏を楽しむ「おやじジャズトレイン」が兵庫県神戸県民局主催により運行されました。

なお、特別列車は昨年度に製作した「ハッピートレイン」号が活用されました。

【開催日時】　6 月 17 日
【特別列車運行経路】谷上～鈴蘭台～志染間（往復）
【参加バンド】
A.K.T　　※第 2 回おやじジャズバンドコンテスト in 神戸　ラジオ関西賞受
サンド・ストーム　※第 3 回おやじジャズバンドコンテスト in 神戸　審査員特別賞受賞

【参加者】約 150 名の方が参加されました。

参加者受付　　開催状況

【実施予定】

1. 七夕・笹竹飾り　　・・・7 月 5 日～16 日

粟生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の幼稚園児にご協力いただき、西鈴蘭台・木幡・栄・押部谷・緑が丘・志染・恵比須・小野の各駅に、「七夕・笹竹飾り」を設置し、季節感あふれる駅環境を提供するとともに、参加園児の保護者や沿線住民に対してマイレール意識の醸成を図ります。

【参加者】

15 幼稚園・保育園（所）から、約 1,400 名の皆さんに参加を頂く予定です。

（西鈴蘭台駅）鈴蘭台西町保育園、五葉幼稚園、聖ミカエル幼稚園、西鈴蘭台頌栄保育園
（木幡駅）　木津幼稚園
（栄駅）　さくらんぼ幼稚園、あさひ保育園
（押部谷駅）　おしんべ幼稚園、押部谷保育所
（緑が丘駅）　緑が丘保育園
（志染駅）　広野幼稚園、自由が丘幼稚園
（恵比須駅）　三樹幼稚園、三木幼稚園
（小野駅）　わか松幼稚園

【参考】昨年の「七夕・笹竹飾り」

2. 「粟生線活性化協議会だより（夏特別号）」（仮称）の制作・配布　・・7 月中旬

昨年度まで発行しておりました「粟生線おでかけガイド」に代わる情報誌として、以下の各種情報を盛り込んだ小冊子「粟生線活性化協議会だより（夏特別号）」（仮称）を制作・発行し、新聞折り込み・駅頭配布等により広く沿線に情報発信を行い、利用啓発と利用増を図ります。

・お得な企画乗車券を利用した粟生線沿線他へのおでかけモデルコースのご紹介
・「おもてなしきっぷ（神戸電鉄全線 1 日フリー乗車券）」や各種企画切符のご案内
・「粟生線サポーターズくらぶ」の会員募集のご案内
・粟生線の利用状況・協議会の活動状況の紹介　など

【配布予定】

□ 新聞折り込みによる配布（粟生線沿線）　：約 35,500 戸
□ 神鉄社員による沿線への駅等配布等　：約 7,000 部
□ 沿線自治会等を通じた配布　：約 3,000 部

3.「おもてなしきっぷ」の発売　　・・・7 月 21 日～9 月 30 日

昨年度に引き続き、夏休み期間中の利用者増加施策として、神戸電鉄全線で利用可能な１日フリーパスと沿線グルメスポットで利用できるお得な割引券をセットにした「おもてなしきっぷ」を、沿線の協力店舗を昨年度より拡大（26 店舗）してより一層ご利用しやすいきっぷとして利用増を図ります。

4. 親子で GO!!「ミステリートレイン 2012」の運行　　・・・8 月中旬

昨年度に引き続き、夏休み期間中のご家族連れを対象として、事前に内容や行程をお知らせすることなく沿線施設の見学等を楽しんで頂く「ミステリートレイン」を運行し、継続的な利用啓発とマイレール意識の醸成を図ります。

5. 秋期スタンプラリーの企画・開催　　・・・9 月～

昨年度に引き続き、粟生線沿線を巡るウォーキングイベントを企画・開催し、ご家族連れからハイカーまで、沿線内外の幅広い利用者に対する継続的続的な利用促進を図ります。

6.　「神鉄トレインフェスティバル 2012」の開催　　・・・10 月初旬

昨年度に引き続き、粟生線利用促進と協議会活動を広くＰＲする代表的なイベントとして、沿線高校や飲食店等と協働した様々な楽しい企画と併せて、沿線地域と一体となったイベント開催による利用増と粟生線活性化への取り組みに対する理解と協力を求めます。

資料-4　別紙-1

神戸電鉄粟生線沿線地域におけるモビリティ・マネジメント実施業務（調査結果概要）

1.　目的及び概要

「神戸電鉄粟生線」の活性化・利用促進を目的として、自動車から公共交通（粟生線）への利用転換を効率的・効果的に進めるため、主に以下の取組を実施した。

① 沿線住民を対象としたトラベル・フィードバック・プログラム

※ トラベル・フィードバック・プログラム（TFP）とは、モビリティ・マネジメントの手法の一つで、一人ひとりの自律的な行動変化を促すコミュニケーション型のプログラム

※ モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりの行動や意識を変化させ、自らの自発的な意思によって、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態へと変えていく交通施策

② 沿線企業を対象としたモビリティ・マネジメント

③ シンポジウムの開催

2.　沿線住民を対象としたトラベル・フィードバック・プログラム

（１）概要

「粟生線」の利用促進を目的として、粟生線沿線（神戸市・三木市・小野市）の住民を対象に、自分自身の移動手段について振り返っていただき、今よりも“粟生線利用”を増やすことができないかを考えていただくための“きっかけ”づくりと、さらに、実際に粟生線を利用していただくための呼びかけを、アンケート形式で実施した。具体的には以下の2段階で実施した。

● 第1ステップ（9 月中旬）

沿線 10,000 世帯（駅から概ね1km圏内の世帯を対象）に、「粟生線」利用を促す動機付け冊子と、コミュニケーションアンケートを郵送配布・回収した。

（神戸市:3,375 世帯、三木市:4,552 世帯、小野市:2,073 世帯）

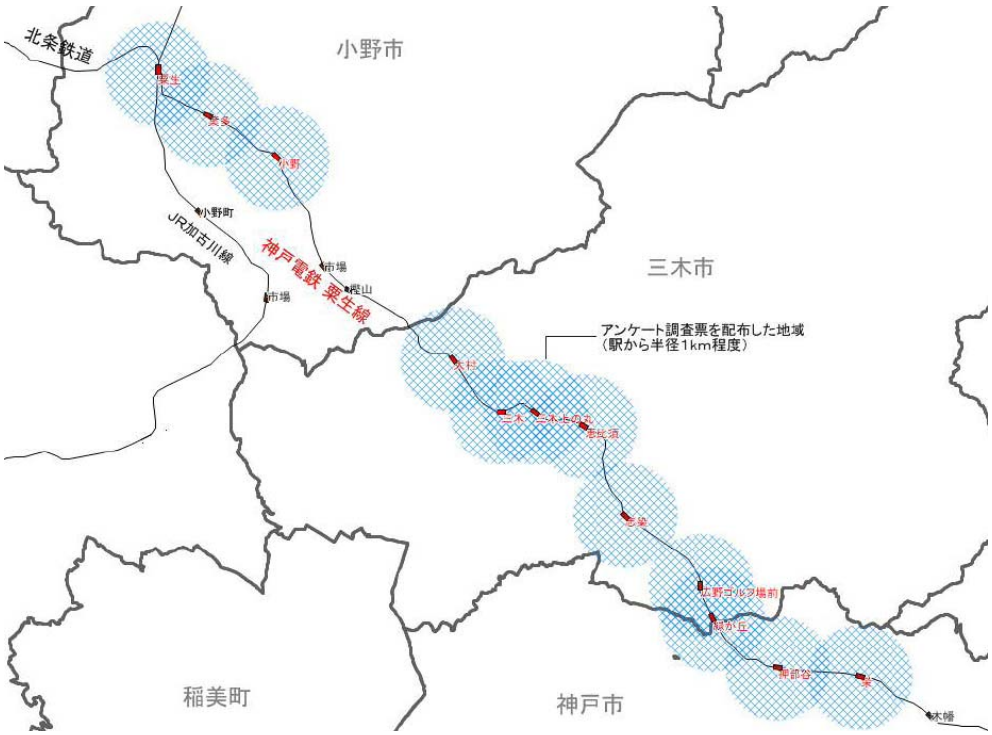
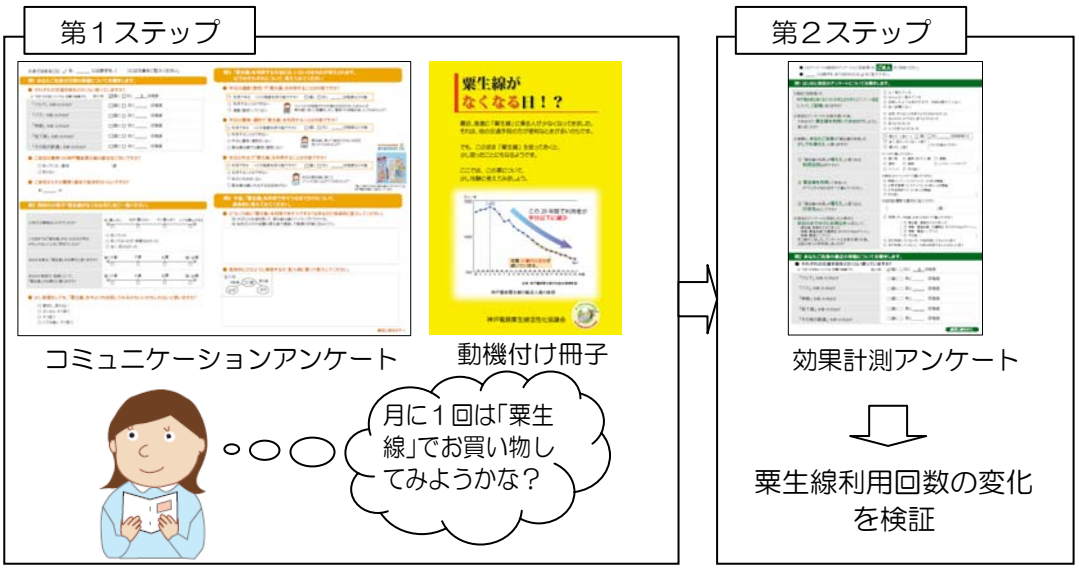


図　調査対象地域

● 第2ステップ（11 月中旬）

第1ステップ回答者の中から、引き続きアンケートに協力頂ける方（2,128 世帯）を対象に、効果計測アンケートを郵送配布・回収し、粟生線の利用促進効果を検証した。

（神戸市:713 世帯、三木市:990 世帯、小野市:423 世帯、その他 2 世帯）



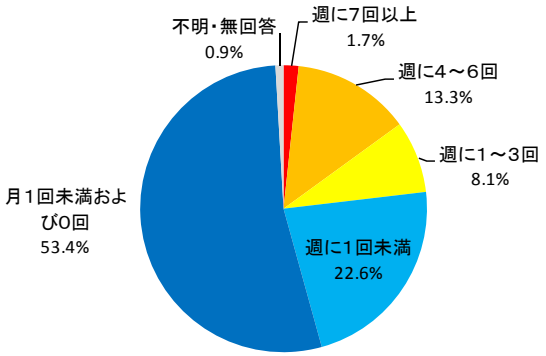
（２）コミュニケーションアンケート結果（９月）

2,878 世帯・3,934 人の方から回答をいただいた。（今後もアンケートに協力 2,751 人）

【結果概要】

・約半数の方が、粟生線の利用は月に1回未満と回答された。

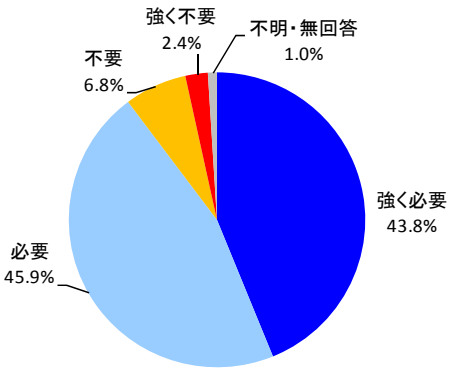
「神鉄」を使った外出の回数



週に7回以上	66件	1.7%
週に4～6回	524件	13.3%
週に1～3回	320件	8.1%
週に1回未満	888件	22.6%
月1回未満および0回	2100件	53.4%
不明・無回答	36件	0.9%
合　計	3934件	100.0%

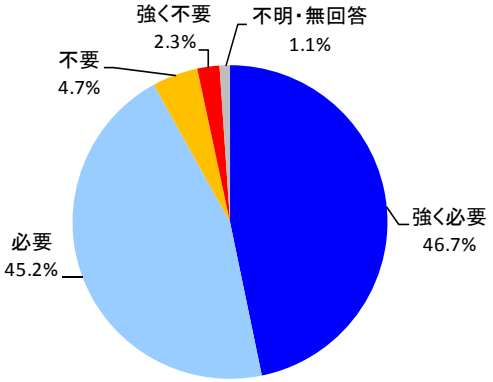
・一方で、約 90%の方が自分自身や家族、地域にとって粟生線は必要と回答された。

回答者自身の粟生線の必要性



強く必要	1725件	43.8%
必要	1806件	45.9%
不要	268件	6.8%
強く不要	96件	2.4%
不明・無回答	39件	1.0%
合　計	3934件	100.0%

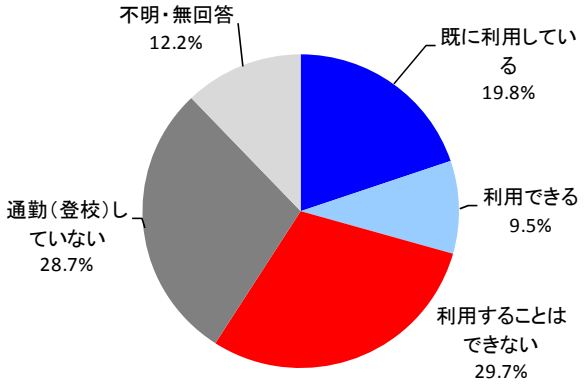
家族や地域にとっての粟生線の必要性



強く必要	1839件	46.7%
必要	1779件	45.2%
不要	185件	4.7%
強く不要	89件	2.3%
不明・無回答	42件	1.1%
合　計	3934件	100.0%

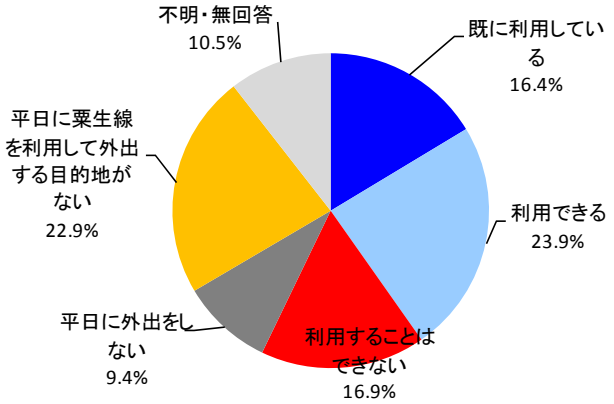
・平日の通勤・通学では約 10%、平日の外出（買い物・通院など）では約 20%の方が今後利用できる可能性があると回答された。

平日の通勤・通学時における粟生線利用の可能性



既に利用している	780件	19.8%
利用できる	375件	9.5%
利用することはできない	1170件	29.7%
通勤（登校）していない	1129件	28.7%
不明・無回答	480件	12.2%
合　計	3934件	100.0%

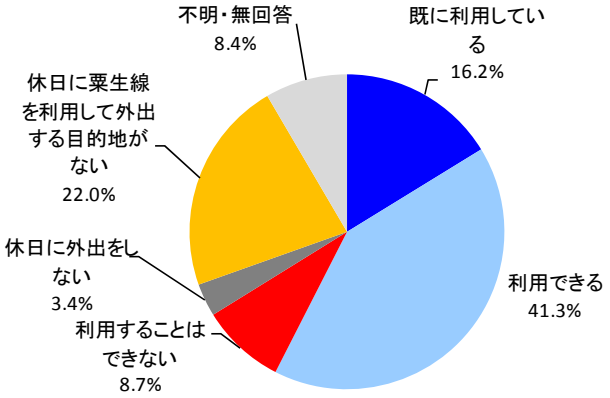
平日の外出（買物・通院など）における粟生線利用の可能性



既に利用している	644件	16.4%
利用できる	939件	23.9%
利用することはできない	666件	16.9%
平日に外出をしない	369件	9.4%
平日に粟生線を利用して外出する目的地がない	901件	22.9%
不明・無回答	415件	10.5%
合　計	3934件	100.0%

・また、休日の外出では約 40%の方が利用できる可能性があると回答された。

休日の外出（レジャーなど）における粟生線利用の可能性



既に利用している	639件	16.2%
利用できる	1623件	41.3%
利用することはできない	341件	8.7%
休日に外出をしない	133件	3.4%
休日に粟生線を利用して外出する目的地がない	866件	22.0%
不明・無回答	332件	8.4%
合　計	3934件	100.0%

その他粟生線を利用しやすくする取組として、以下の意見があった。

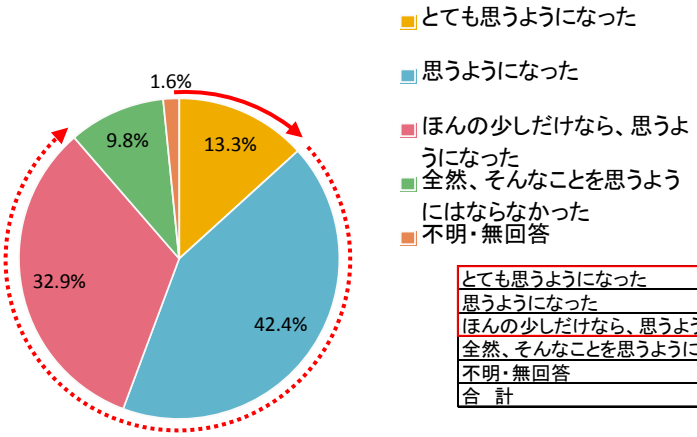
・運賃の低廉化、企画切符の充実
・所要時間の短縮
・利用者数に応じた運行本数、車両数の設定
・競合する路線バスとのサービス水準差の是正、バスと連携したマップの作成
・各種団体への積極的な利用促進要請
・学校・企業の誘致や住宅地開発などによる駅周辺の活性化　等

（３）効果計測アンケート結果（11 月）

1回目のアンケートに協力いただいた方のうち、2,751 人を対象に、どの程度粟生線利用が増えたかをお聞きする2回目のアンケートを実施し、1,627 人の方から回答をいただいた。

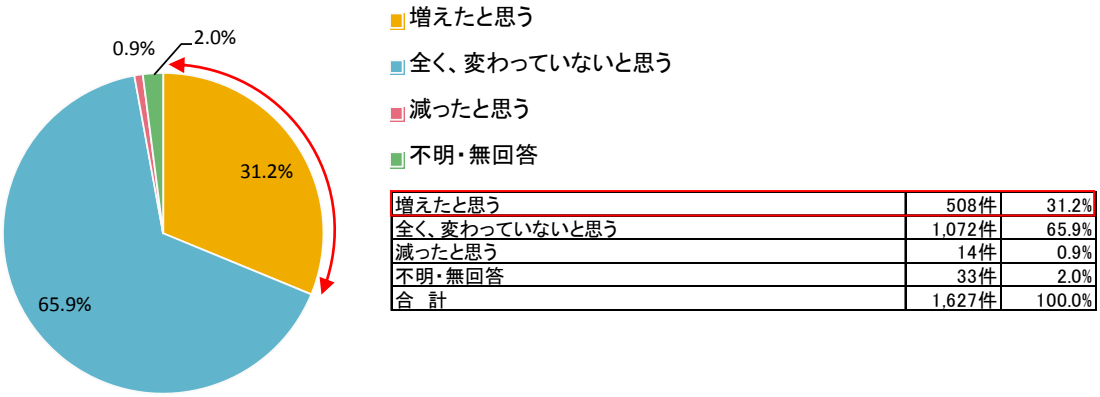
【結果概要】

・約 90%の方が、粟生線を利用して出かけようと思ったと回答された。



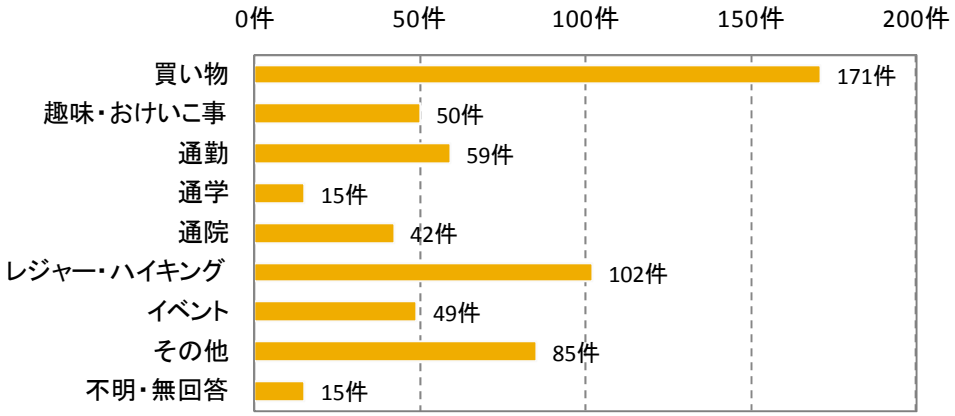
とても思うようになった	216件	13.3%
思うようになった	690件	42.4%
ほんの少しだけなら、思うようになった	536件	32.9%
全然、そんなことを思うようにはならなかった	159件	9.8%
不明・無回答	26件	1.6%
合　計	1,627件	100.0%

・約 30%の方(約 500 人)が、以前より粟生線利用が増えたと回答された。利用目的は、レジャー、ハイキングが多く、主な行き先としては、三宮、新開地などの神戸都心部のほか、三木金物まつりに行く際に利用された方もおられた。

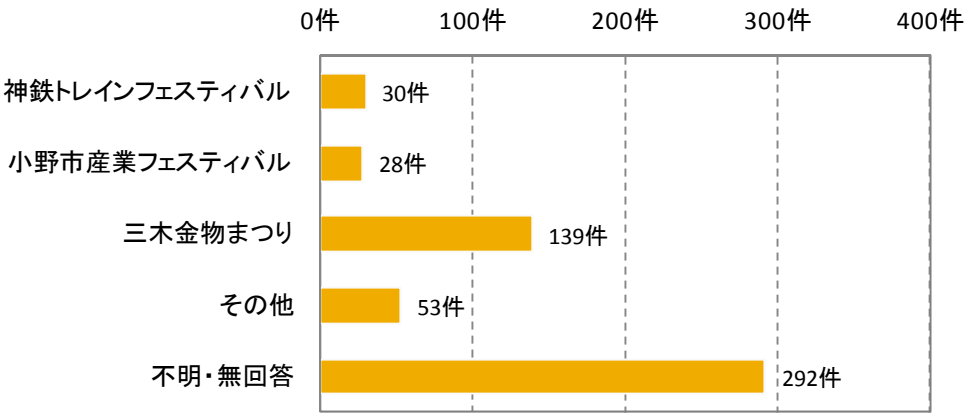


増えたと思う	508件	31.2%
全く、変わっていないと思う	1,072件	65.9%
減ったと思う	14件	0.9%
不明・無回答	33件	2.0%
合　計	1,627件	100.0%

〔結果：増えた利用目的（回答数＝508 件）〕

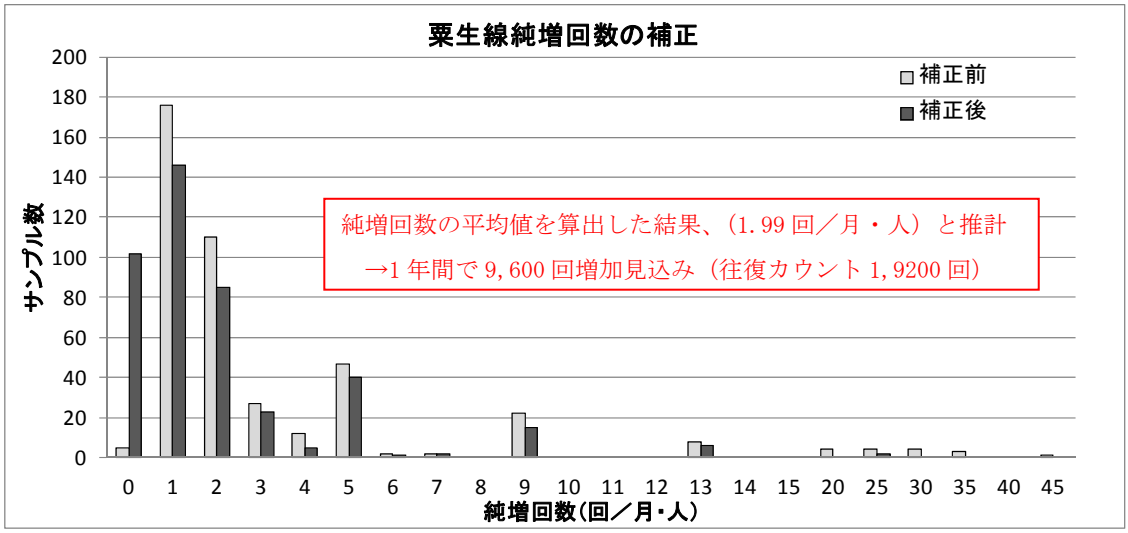


〔結果：粟生線を使って参加したイベント（回答数＝508 件）〕

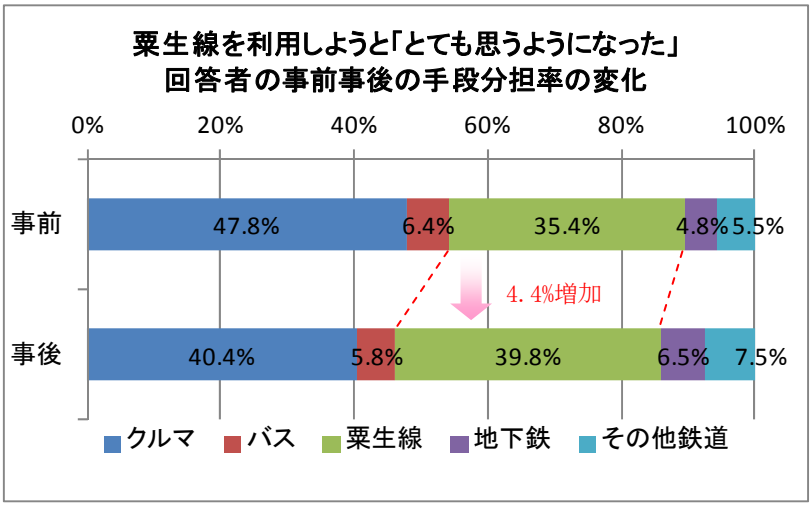


・500 人の内、増加回数の記入があった方（約 400 人）について、第1回目のアンケートからの純増回数を推計したところ、平均 1.99（回／月・人）と見込まれる。

A	効果検証アンケートにおいて「粟生線の利用」が「増えたと思う」と回答したサンプル	５０８件
B	A の内、「増加回数」の記入があったサンプル	４２７件



・今後も引き続き、アンケート等に協力できると回答いただいた方は、1120 人であった。
・アンケート回答後の粟生線の利用意向別に事前事後の各交通手段別の利用回数を集計した。その結果、できるだけ粟生線を利用しておでかけしようと「とても思うようになった」と回答した層は粟生線の分担率が 4.4%増加している。



※手段分担率＝手段別平均利用回数÷手段計平均利用回数×100

3. 沿線企業を対象としたモビリティ･マネジメント

粟生線沿線の事業者(企業･学校)を対象に、粟生線の利用状況、新たな粟生線利用の可能性、廃止された場合の影響(通勤手段、集客減少の懸念など)等を把握するアンケートを実施した。

実 施 時 期 ： 平成 24 年 2 月 13 日(月)～3 月 2 日(金)
対象事業者 ： 下記(1)、(2)の通り
【1,051 件に配布し、353 件から回答。(企業:318 件、学校:35 件)】

(1) **企業**

● 小野市・三木市
粟生線沿線企業を対象とするため、駅 2km 圏内で登録従業員が 5 名以上の事業所を選定
(小野市及び三木市の商工会議所に、事業所の選定を依頼)

● 神戸市
神戸テクノ・ロジスティックパーク (神戸複合産業団地) に進出している企業を選定

(2) **学校**

神戸市西区・北区、三木市、小野市にある、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学から、粟生線沿線の学校を選定
(粟生線の鉄道駅から、おおよそ 5km 圏内にある学校を選定)

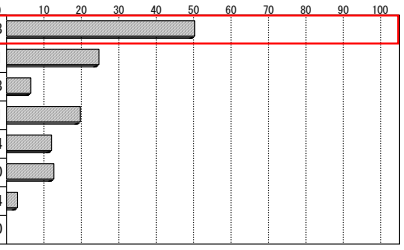
【結果概要】

・ 全従業員(12519 人)の内、約 5%(640 人)が、粟生線を利用して通勤していると回答された。

質問			単位	回答企業計	三木市	小野市	神戸市	その他不明
1 従業員の通勤について	問1	従業員数	人	12,519	7,347	3,301	1,840	31
		うち非正社員	人	4,125	2,429	1,259	435	2
	問2	神鉄利用	人	640	303	60	275	2
		従業員の神鉄利用割合	%	5%	4%	2%	15%	6%
	問3	端末交通－徒歩	人	531	232	41	256	2
		端末交通－自転車	人	44	29	6	9	0
		端末交通－バイク	人	3	2	0	1	0
		端末交通－送迎バス	人	58	47	3	8	0
		端末交通－バス	人	4	2	1	1	0
		端末交通－その他	人	0	0	0	0	0
	問4	マイカー利用	人	10,156	6,099	2,738	1,294	25
		地下鉄利用	人	94	37	7	50	0
		バス利用	人	155	78	23	54	0
		徒歩利用	人	399	269	121	9	0
		自転車利用	人	305	223	78	4	0
		二輪･原付利用	人	295	150	89	52	4
		送迎バス利用	人	75	43	0	32	0
		従業員のマイカー利用割合	%	81%	83%	83%	70%	81%
		従業員の地下鉄利用割合	%	1%	1%	0%	3%	0%
		従業員のバス利用割合	%	1%	1%	1%	3%	0%
		従業員の徒歩利用割合	%	3%	4%	4%	0%	0%
		従業員の自転車利用割合	%	2%	3%	2%	0%	0%
		従業員の二輪原付利用割合	%	2%	2%	3%	3%	13%
		従業員の送迎バス利用割合	%	1%	1%	0%	2%	0%

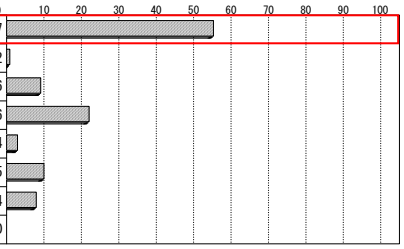
・ 約 50%の事業者が、粟生線が廃線になった場合、影響がないと回答された。

	(件)	(%)
1. 粟生線とは無関係なので、また、粟生線通勤者はいないので、影響は受けない	164	50.8
2. 通勤できない従業員がでてくるため、通勤手段への対策を検討しなければならない	81	25.1
3. 非正規社員（パートタイマー、アルバイト等）の確保が困難になると思う	22	6.8
4. 来訪者・購入者が減ると思う	65	20.1
5. 事業所の案内やＰＲで駅前と表記できなくなるなど、今の立地場所の利点がなくなると思う	40	12.4
6. その他	42	13.0
不明・無回答	11	3.4
合　計	323	100.0



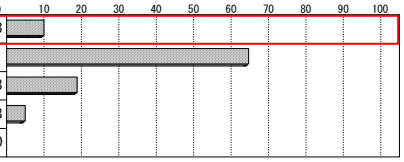
・ また、約 60%の事業者が、粟生線が廃線になった場合、特に対応しないと回答された。

	(件)	(%)
1. 粟生線とは無関係なので、また、粟生線通勤者はいないので、対応することはない	180	55.7
2. 従業員の通勤や集客力に影響が大きいため、事務所を違う場所に移転する	4	1.2
3. 電車通勤が出来なくなるため、雇用する地域を見直す（近隣からの雇用を増やす等）	31	9.6
4. 従業員の通勤手段をマイカー通勤に変えてもらう	73	22.6
5. 従業員の通勤手段の確保として、送迎バスなどを自主運行する	11	3.4
6. その他	34	10.5
不明・無回答	27	8.4
合　計	323	100.0



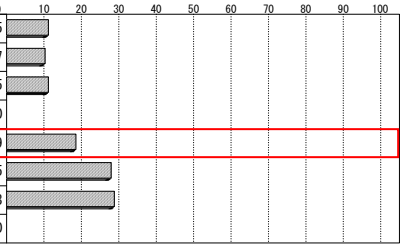
・ 一方、利用者増加等に関する取組に、積極的に協力すると回答いただいた事業者は、37 人であった。

	(件)	(%)
1. 積極的に協力したいと思う	37	10.3
2. 取組の内容によっては協力したいと思う	233	65.1
3. 協力することはない	69	19.3
不明・無回答	19	5.3
合　計	358	100.0



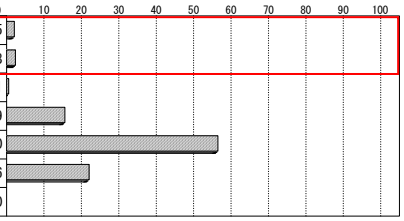
・ サポーター制度へ協力すると回答いただいた事業者は、51 人であった。

	(件)	(%)
1. 毎月最終金曜日の『マイバス・マイ電車の日』など、毎月実施しているノーマイカーデーには、従業員・職員にマイカー通勤を自粛するよう働きかける	31	11.5
2. 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、ノーマイカーデー以外の日でも、電車・バスを使った通勤者が多くなるよう働きかける	29	10.7
3. 地域全体としてエコ通勤に向けた運動や取組があれば、マイカー通勤が少なくなるように、通勤手当やクルマ通勤を許可する条件・制度などを見直してみる	31	11.5
4. 粟生線の存続に向けて、マイカー通勤を全面的に禁止する	0	0.0
5. 粟生線存続のサポーター制度があれば、会員登録する	51	18.9
6. その他	77	28.5
不明・無回答	79	29.3
合　計	270	100.0



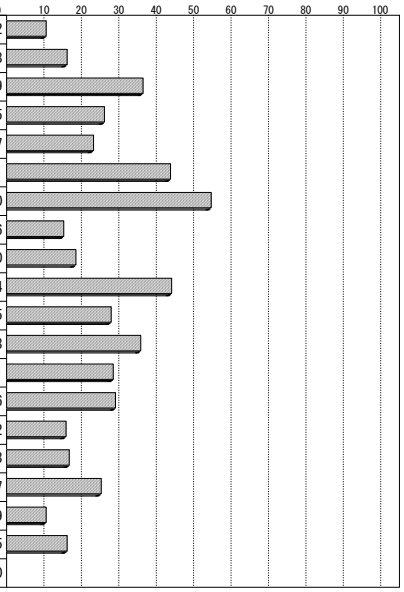
・ 取組状況の説明や事業所・学校にあった具体的な提案をして欲しいと回答いただいた事業者は、19 人であった。

	(件)	(%)
1. 通勤や業務での粟生線利用促進に向け、貴事業所・貴校に合った具体的な提案をして欲しい。	9	2.5
2. 通勤や業務での粟生線利用促進の取組に興味があるため、活性化協議会が進めている取組状況などの簡単な説明をして欲しい。	10	2.8
3. 貴事業所・貴校の従業員・職員向けに、粟生線利用促進に関する講習会・説明会を開催して欲しい。	4	1.1
4. 粟生線に関するチラシやパンフレットを送付して欲しい。	57	15.9
5. 特にお願いしたいことはない。	204	57.0
不明・無回答	81	22.6
合　計	358	100.0



・ 粟生線の利用促進に向けた取組として、どのような取組が良いと思いますかという設問に対して、以下の回答をいただいた。

	(件)	(%)
1. ノーマイカーデーの徹底	40	11.2
2. 例えばエコ通勤に積極的な事業所・学校などに対して、表彰する制度の導入	60	16.8
3. 粟生線利用促進に積極的な事業所・学校に対して、駅広告スペースの無料使用制度の導入	132	36.9
4. 駅において、バス停の乗り場案内やバス時刻表の掲示	95	26.5
5. インターネット等でのバスの乗継情報等の提供	85	23.7
6. 鉄道やバスの、出発時刻と到着時刻の両方が分かる時刻表の作成	158	44.1
7. 鉄道と連動したバスダイヤの提供	197	55.0
8. 電車の車内において、座席の座りやすさの工夫や空調の改良による快適性の向上	56	15.6
9. 駅構内の夜間照明の増設など、駅施設の改善	68	19.0
10. 粟生線とバスとの連携乗車券の提供	159	44.4
11. 粟生線の新規通勤定期購入者が一定数いる場合、大口特約による割引制度の導入	102	28.5
12. 駅周辺でのパークアンドライド用駐車場の整備	130	36.3
13. 駅前での送迎用駐停車スペースの確保	104	29.1
14. 駐輪場の整備	106	29.6
15. 駅での自転車の貸出	58	16.2
16. 駅前でのバス停設置	62	17.3
17. 駅と事業所・学校周辺とを連絡するアクセスバスの導入	92	25.7
18. その他	39	10.9
不明・無回答	59	16.5
合　計	358	100.0



＜その他の記述のまとめ＞

●企業の意見

・運賃・企画切符 ---------- 9 件

・沿線イベント企画・情報提供 ---------- 6 件

・運行本数・車両数 ---------- 5 件

・所要時間 ---------- 4 件

・他線との接続 ---------- 4 件

・学校・企業誘致、宅地開発、駅前開発 ---------- 4 件

・駅からの公共交通手段の充実 ---------- 3 件

・神姫バスとのサービス格差をうめる ---------- 2 件

・団体への利用促進要請 ---------- 2 件

・その他 ---------- 5 件

●学校の意見

・地域行事との連携（新しい企画も）B1 グランプリなどのような例えば小野創作グルメグランプリ。・駅名の変更。・駅毎の名物の発掘。・動物駅長の配置。地元のユルキャラとのコラボ。・駅毎のスタンプ配置。スタンプラリー。・学校行事に粟生線を利用する企画の提案（遠足等）

・駅から近くのところに公園をつくる。

・運賃をバスより安くする。

4. シンポジウムの開催

2 月 19 日(日)、三木市文化会館において、粟生線の維持と存続を目指し、沿線地域の住民一人ひとりができることを考えるため、「乗って残そう 粟生線のある未来の生活」と題するシンポジウムを開催した。

13：00 開 会	北井 信一郎	粟生線活性化協議会会長・三木市理事	
13：05 基調講演	「持続可能な公共交通と粟生線の活性化」 土井 勉	京都大学大学院特定教授・粟生線活性化協議会座長	
13：50 取り組み報告	小野高等学校	ラジオドキュメント作品「線路はどこまでも続かない」	
	三木東高等学校	経営アントレプレナー等の取り組み	
	RACDA 岡会長	RACDAの取り組み紹介	
14：25 休憩・パネル展示鑑賞			
14：35 パネルディスカッション	コーディネータ	土井 勉	京都大学大学院特定教授・粟生線活性化協議会座長
	パネリスト	安福 恵子	三木市区長協議会連合会会長
		多鹿 豊	小野市商店街理事
		中野 美都子	神戸市西区押部谷町連合自治協議会副会長
		岡 將男	NPO法人公共の交通ラクダ 理事長
		正司 健一	神戸大学大学院 経営学研究科 教授
		三津澤 修	神戸電鉄株式会社 常務取締役・鉄道事業本部長
		北井 信一郎	粟生線活性化協議会会長・三木市理事
16：00 閉 会			

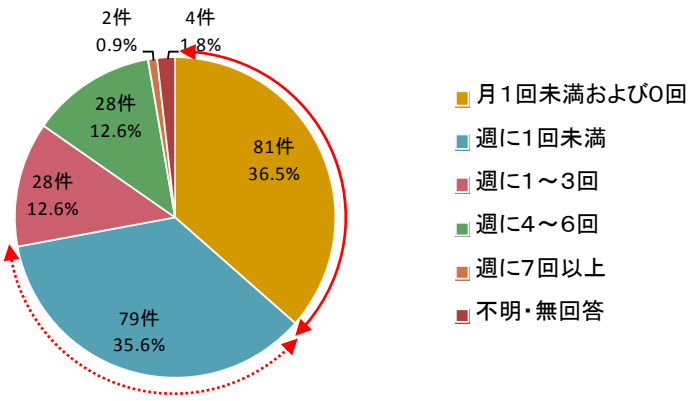
基調講演では、粟生線がなくなった時の地域への影響(渋滞の発生、地価の下落)や、粟生線存続に向けた具体的な取組事例について分りやすく紹介され、続いて、地元高校生による粟生線活性化の取組事例の報告があった。また、NPO 法人 RACDA から、取組事例とともに、鉄道の利用促進のためには、沿線住民による主体的な取組が重要であるとの報告があった。

さらに、パネルディスカッション形式で、“粟生線がなくなったらどうなるのか”“私達一人ひとりが粟生線を残すためにできることは何か”をテーマに議論いただいた。粟生線利用を増やしていくためには、企画乗車券を上手に使ってお出かけすることをクチコミなども通じて広めていくことや、サポーター制度を創設して粟生線を利用する機会がない方からも寄付を募る仕組みづくりが重要であり、また、存続に向けた活動を継続していくには、楽しく取り組むことが重要との意見が出された。

参加者 313 名の内、222 人からアンケートに回答いただいた。

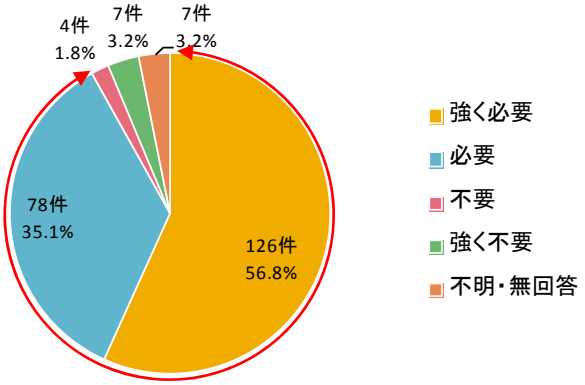
【結果概要】

・約 40%の方が粟生線の利用は月に1回未満、また、約 40%の方が週に1回未満と回答された。

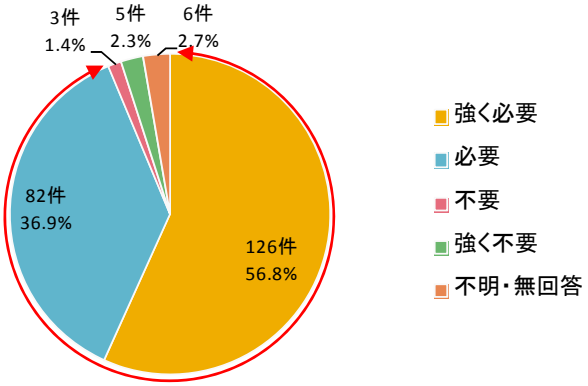


・一方で、約 90%の方が自分自身や家族、地域にとって粟生線は必要と回答された。

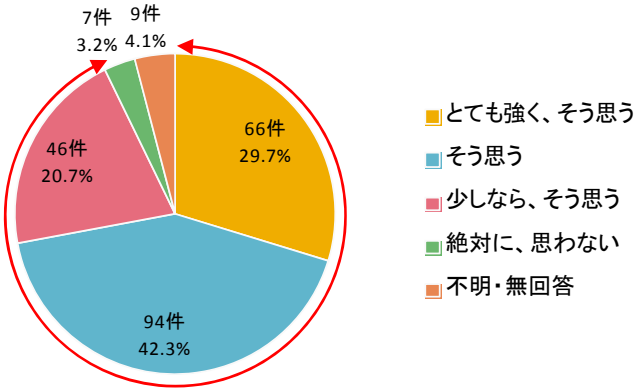
粟生線の必要性（回答者自身）



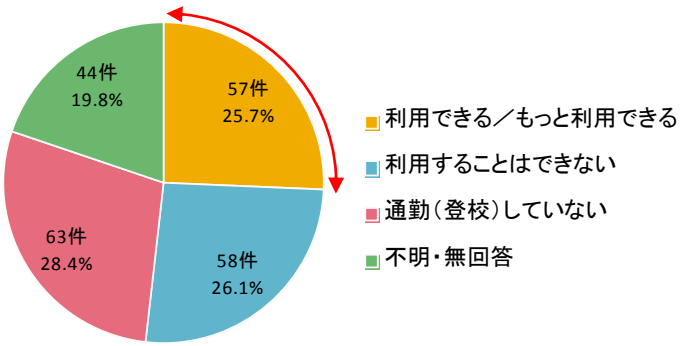
粟生線の必要性（家族・地域）



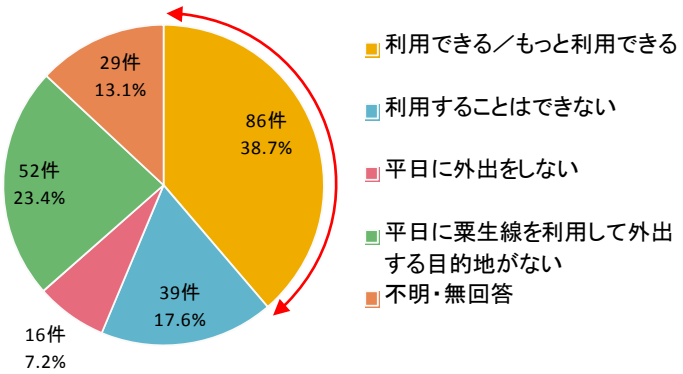
・少し無理をしても、「粟生線」を今よりも利用してみると回答頂いた方は、約 90%おられた。



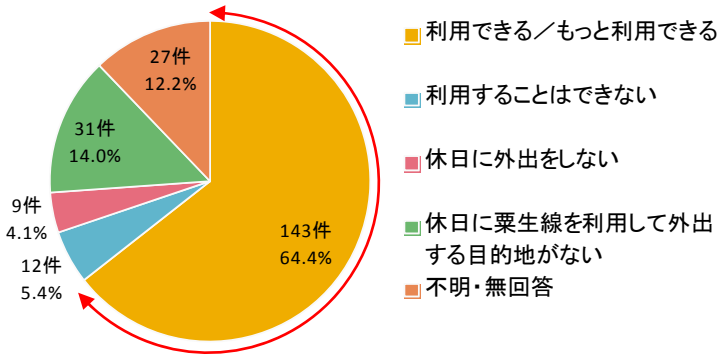
・平日の通勤・通学では約 30%、平日の外出（買い物・通院など）では約 40%の方が今後利用できる可能性があると回答された。
「平日の通勤・通学で「粟生線」を利用することは可能ですか？」



「平日の外出（買物・通院など）で「粟生線」を利用することは可能ですか？」



・また、休日の外出では約 60%の方が利用できる可能性があると回答された。
「休日の外出（レジャーなど）で「粟生線」を利用することは可能ですか？」



・今後の活動に興味を持っていると、回答いただいた方は、106 名であった。